

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 章佑会	代表者	馬場 康雄	法人・ 事業所 の特徴	法人理念（「あらゆる人に生きる夢と勇気と希望を提供する」）のもと、高齢者、障害者、また地域のあらゆる人が住み慣れた地域で生き生きと安心して生活をしていただけるよう、その方の状態や希望に合わせて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせたサービスを提供し可能な限り在宅生活を継続できるよう支援します。
事業所名	やすらぎガーデン・ 石神井台	管理者	齋藤 維彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	5人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所評価・外部評価を元に勉強会を行い改善計画の進捗状況や確認等の共通意識を高めていく。	・毎月の会議にて状況の確認やふりかえりを行った。また所内での月目標を毎月の会議で設定し改善に努めた。	・全体的に前回の改善計画を取り組めてよくできていると思います。 ・地域の方がたにもっとサービス内容が理解されるといい。	・サービス評価を元に改善すべき点は早急に取り組む体制を作る。またサービス評価の内容や進捗状況を全体で共有し常に意識をもって業務に従事していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・継続して玄関前のエントランスを地域開放するとともに掲示板には様々な情報（福祉・活動等）掲示し地域に開放した施設を目指す。	・張り紙をすることで地域の方々にご利用されている様子が見られた。お買い物帰りの主婦やご高齢の方などいらっしゃった。また事業所のパンフなど掲示物にも目をやる姿もあり少しずつ環境の改善がなされていると感じる。	・玄関、エントランスや公道に面した窓などに地域のお知らせや利用者さんの作品など展示してあり目が止まって良いと思います。またホワイトボードも毎回、内容が変わっていて楽しみです。	・様々な情報の掲示等や生き物などで外部に発信し入りやすい環境や雰囲気を作り福祉事業所としての役割はもちろんのこと、さらに地域に開けた場所にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き地域行事への参加を行っていくとともに様々なスタッフが関わられるようシフト等の調整を行っていく。 ・定期的に施設での活動を掲示板などで掲示し地域に知ってもらうことで、来園しやすい環境を作っていく。	・ご利用者様の状況の変化等により全体で動く事が難しいことが多い。より細かな計画を立て小単位で活動できるようにシフトや業務調整が必要であった。	・ガーデンでの行事やイベントなどもっと周りに情報発信をしていけると良いのではないのでしょうか。	・地域資源の理解を深め、さらに利用者のニーズ、やりたいことを実現できるように細かな計画や業務調整を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・今後も地域での活動を継続しながら、更に関わりを深めていく。 ・可能な限り全員が参加できるように計画を立てて取り組む。	・地域のイベントや資源活用等、状況に合わせて行ったがご利用者の増加に伴いサービス量などが増え施設内で完結しようとしてしまい充実した取り組みができなかった。	・利用者さんの状況によって難しいこともあると思います。無理をせずに参加して下さい。 ・イベントなどその都度、お知らせするので参加して下さい。	・地域イベント等、可能な限り全員（スタッフ・利用者）で取組み、参加できるように計画を立てて取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で得た情報などの共有を深め、さらにその理解を高め活用できるようにする。	・運営推進会議の後に開催するスタッフ会議で情報の共有及び理解度を高めていくことができた。	・みんなが情報を共有する時間があることは大切だと思います。引き続き行っていければ良いと思います。	・運営推進会議で得た情報など議事録やスタッフ会議で共有を深め、さらにその理解を高め活用できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・引き続き年2回は総合訓練を実施する。 ・建物全体的な訓練の実施できるよう計画を立てて行う。 ・防災計画を掲示していく。	・消防計画の中で実施することができた。しかし建物全体としての訓練が出来なかった。	・万が一の際に地域の中でひとつの拠点としてあると心強いです。 ・全体での訓練は難しいでしょうね。	・引き続き年2回は総合訓練を実施する。 ・防災計画を掲示していく。